



店舗前で参加者を前に、恒例となっている出発前のコース説明と、安全運転遵守の説明を峯尾営業部長が実施。



ウエマツというだけの繋がりだけに、出発前にはツーリングの安全と成功を願って参加者の意気投合の祈念撮影。



東名海老名サービスエリアでは、到着すると、気になるバイクのオーナーに駆け寄り、スマホを駆して写真撮影する参加者や、すでに集合場所まで距離を走った参加者は、目的地までの燃料補給と冷たい飲物でほっと一息ついていた。

「ソレイユの丘」は動物・農業・食にふれあえる、体験型総合公園で入場も無料（要駐車料）。



「ソレイユの丘」まであと一息と、隊列を成して目的地を目指す参加者に、ウエマツのスタッフが先回りをして、道添いで案内に立ち、それに従って次々と駐車場に着く参加者。

梅雨明けの 熱いツーリング

奇しくも7月20日（海の日）は関東地方の梅雨明け。早朝から好天が期待できる絶好のツーリング日和となった。ウエマツ八王子店前は、早朝から様々な旧車のエキゾーストノートが響き渡っていた。ウエマツ絶版バイクオーナーによるツーリング・イベントに参加する為に続々とオーナーが集つて来ていた。愛車と走るだけでなく、仲間や家族と共にメンバーを中心とした「楽しい一時を過ごす」という目的は、前回から共通する目的だ。出発時間は8時半、ウエマツの峯尾営業部長によるコース説明や走行時の安全にかかる諸注意があり、植松社長からも安全に楽しい一日を過ごしてほしいとの挨拶があつて、定時に出発となつた。今回は中央高速から圏央道を経由して、横浜横須賀道路、三浦縦貫

貫道を利用して「ソレイユの丘」

が、大半が高速道、出発後には想

定以上の好天に、気温は上昇の一

途を辿るというリスクが顕在する

コースだった。しかし、そこはウ

エマツの技術部隊が4輪で伴走し

てのツーリングなので、参加者は

安心して走りに没頭できた。

途中、休憩の為に東名海老名サ

ービスエリアに立ち寄り、バイクに

はガソリン、ライダーには水分を

補給して消費した分を充填。それ

でもバーキングに停められた他の

オーナーのマシンの品定めに余念

がないのが旧車ファンの性か。

暑い中、横浜横須賀道路を行

し横須賀バーキングエリアで再休憩をするが、気温は上昇の一途。衣笠インターから三浦縦貫道に入る

が、休日の三浦半島は混雑のメッカ。

案の定国道134号への合流で渋滞にハマつたが、何とか皆無事に

目的地に到着することが出来た。

目指せソレイユの丘

第3回 ZUOCツーリング

今回、第3回目の開催となるウエマツの絶版車オーナーが集うツーリングが、タイミングも良い梅雨明けの7月20日に開催された。前回を遥かに上回る30名以上が参加して、三浦のソレイユの丘を目指した。

写真&レポート●泉田陸男
取材協力●ウエマツ (www.uematsu.co.jp)

